

西宮市消防70年のあゆみ



西宮市消防局

平成30年（2018年）刊行



西宮市消防局長
山下 俊郎

西宮市消防局は、昭和23年3月7日の消防組織法の施行とともに発足し、平成30年で70年の節目を迎えました。こうして70年を迎えることができたのも、数多くの消防職団員と関係各位のご尽力並びに市民と地域団体の消防行政へのご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

消防局も時代の変化とともに発展を遂げ、1本部1署で発足した組織も現在、1本部4消防署4分署、職員定数は522人となりました。

歴史を振り返りますと、ドクターカー制度や非常開放面格子等、全国に先駆けた施策を展開し、地域社会に密着した防災機関として邁進してまいりました。

また、平成7年に「阪神・淡路大震災」を経験した我々は、貴重な教訓を踏まえ、住民が共に助け合う自主防災組織の結成や事業所が周辺地域で消火や救助活動を行う消防協力隊の創設等、地域防災力の強化に取り組んでまいりました。

しかしながら、近年、消防を取巻く社会情勢は大きく変化し、災害の多種多様化、高齢社会の進展、大規模自然災害等により消防行政に対する需要は高まり続けています。さらには、南海トラフ地震の発生確率も高まりつつあり、今後も消防需要は増加することが予想されます。

このような状況下において、消防局は、市民の生命、身体及び財産を守るため、平成28年12月の職員定数96人の増員をはじめ、平成30年末の消防訓練施設竣工、消防局庁舎の移転、西宮消防署の建替え等の事業を推進し、今後も消防力強化を図ってまいります。

また、平成31年度からは西宮市第5次総合計画も始まることから、地域社会に根差した消防であり続けるため、消防団をはじめとする関係機関と連携し地域住民が安心して暮らせる「災害に強い安全で安心なまちづくり」の実現に向け取り組んでまいります。

今後も、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



西宮市消防団長
松本 俊治

西宮市消防団は、明治時代の初期頃、西宮港の沖仲仕組が火災・暴風雨に出動し消防作業に従事したことがはじまりとされ、大正、昭和を経て現在、1本部33分団消防団定員755人で構成し、時代の変化とともに発展を遂げてまいりました。

今日に至っても消防団の根幹であります、郷土愛護の精神のもと日夜、消防団の活動を行っておりますが、これもひとえに諸先輩方のご指導をはじめ、各関係機関、そして市民の皆様のご理解とご協力があったのことに感謝しております。

近年は、火災出動のみならず、地震や風水害等の大規模自然災害が、全国各地で頻発し、消防団の活動内容も多岐にわたり、消防団員に対する期待も高まっております。

その期待に応えるべく、西宮市消防団は、機能別消防団員制度の導入をはじめ、最新の消防車両、資機材の更新整備を行うとともに、諸先輩方からの意思や技術を伝承し、月例の分団別消防訓練や管轄消防署との合同訓練に取り組み、消防団の警防力強化に努めているところであります。

また、「阪神・淡路大震災」という未曾有の大災害で、市民の皆様と協力し復興を成し遂げた経験を糧に、地域社会に根差し地域防災力の強化に努めてまいります。

今後とも、消防局と連携し、地域防災の要としての役割を果たし、市民の安全・安心を守ってまいりますので、引続き変わらぬ消防団へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

西宮市消防 70年のあゆみ

1948—2018

表紙写真：
消防音楽隊30周年記念
(自治体消防制度70周年)演奏会

目次

消防局の歴史

組織・職員定数と出動件数	4
消防庁舎	5
消防車両 (ポンプ車)	10
消防車両 (タンク車)	11
消防車両 (はしご車)	12
消防車両 (救助工作車・化学車)	13
消防車両 (救急車)	14
消防車両 (活動支援車等)	15
主な火災及び災害	16
阪神・淡路大震災	18
緊急消防援助隊	19
予防業務	20
指令業務	21
警防業務	22
救急業務	23
過ぎし日の記録	24
歴代消防長等	26

消防団の歴史

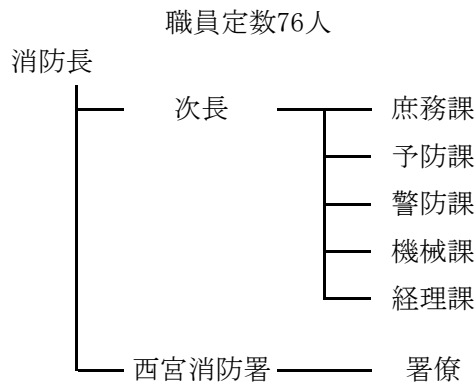
消防団	28
消防団車庫	30
消防団車両	31
消防団の記録	32

西宮市消防70周年記念フレーム切手

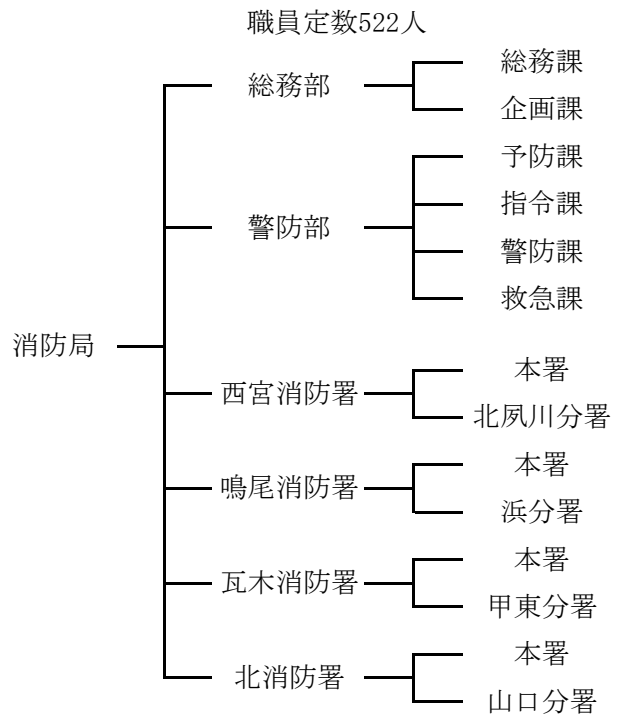
34

◆組織・職員定数と出動件数◆

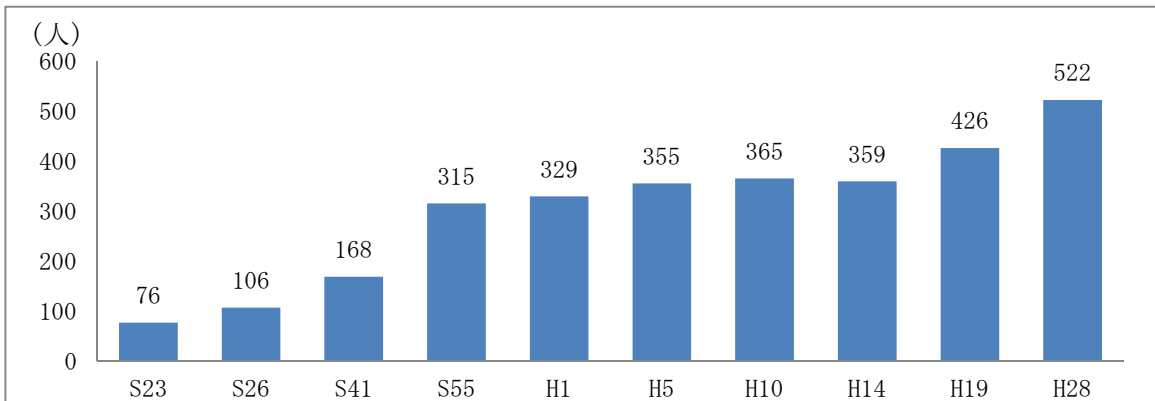
自治体消防発足当時の組織



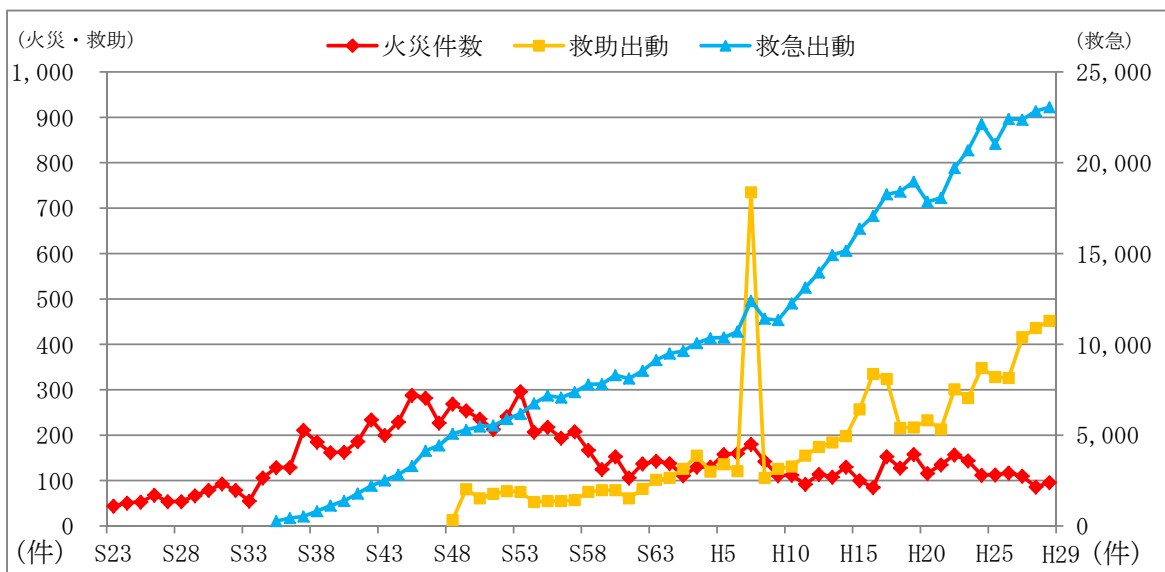
現在の組織



職員定数の推移（改正年度を記載）



火災・救急・救助件数の推移（年）



◆消防庁舎◆

消防本部

昭和23年 3月 西宮市消防本部開設（今津永井町）
昭和23年 3月 鳴尾村消防本部開設（鳴尾村鳴尾）
昭和26年 4月 鳴尾村消防本部が西宮市消防本部に統合
昭和41年 1月 消防本部新庁舎竣工（津門大塚町）
昭和50年10月 消防本部の名称を西宮市消防局に改称
平成 8年 4月 消防局新庁舎竣工（池田町）



昭和37年当時の消防本部（西宮消防署併設）
（今津永井町）



現在の消防局庁舎
（池田町）

消防局整備センター

昭和62年 4月 整備センター竣工



昭和62年当時の整備センター
（西宮浜3丁目）



現在の整備センター
（西宮浜3丁目）

西宮消防署

- 昭和23年 3月 西宮市西宮消防署に改称
- 昭和41年 1月 西宮消防署新庁舎竣工（津門大塚町）
- 平成 8年 4月 消防局が移転し、西宮消防署単独の庁舎となる



昭和41年当時の西宮消防署
（津門大塚町）



現在の西宮消防署
（津門大塚町）

西宮消防署北夙川分署

- 昭和34年 8月 西宮消防署夙川出張所開設（結善町）
- 昭和44年 4月 甲東消防署夙川出張所に改称
- 昭和59年 4月 甲東消防署北夙川分署に昇格し新庁舎竣工（松風町）
- 昭和59年10月 西宮消防署北夙川分署に改称



昭和37年当時の西宮消防署夙川出張所
（結善町）



現在の北夙川分署
（松風町）

鳴尾消防署

昭和23年 3月 鳴尾村消防署開設（鳴尾村鳴尾）
昭和26年 4月 西宮市鳴尾消防署に改称
昭和31年 9月 鳴尾消防署新庁舎竣工（古川町）
昭和55年 3月 鳴尾消防署新庁舎竣工（古川町）
平成23年 2月 訓練棟を併設した南棟竣工



昭和37年当時の鳴尾消防署
（古川町）



現在の鳴尾消防署
（古川町）

鳴尾消防署浜分署

平成11年12月 西宮消防署西宮浜出張所開設
平成26年 4月 鳴尾消防署浜分署に昇格



平成11年当時の西宮消防署西宮浜出張所
（西宮浜3丁目）



現在の浜分署
（西宮浜3丁目）

瓦木消防署

昭和42年 4月 西宮消防署瓦木出張所開設（大屋町）
昭和48年 4月 西宮消防署瓦木分署に昇格
昭和63年10月 西宮市瓦木消防署開設（高木東町）
それに伴い、西宮消防署瓦木分署を廃止



昭和42年の西宮消防署瓦木出張所
（大屋町）



現在の瓦木消防署
（高木東町）

瓦木消防署甲東分署

昭和32年 5月 西宮消防署甲東出張所開設（門戸荘）
昭和44年 4月 甲東消防署に昇格し新庁舎竣工（上甲東園2丁目）
昭和63年10月 瓦木消防署甲東分署に改称
平成30年 1月 瓦木消防署甲東分署新庁舎竣工（上ヶ原一番町）



昭和37年当時の西宮消防署甲東出張所
（門戸荘）



平成23年当時の甲東分署
（上甲東園2丁目）



現在の甲東分署
（上ヶ原一番町）

北消防署

昭和46年 4月 甲東消防署北分署開設（塩瀬町名塩）
昭和59年10月 西宮市北消防署に昇格
平成 3年 4月 北消防署新庁舎竣工（名塩新町）



平成2年当時の北消防署
（塩瀬町名塩）



現在の北消防署
（名塩新町）

北消防署山口分署

昭和60年 4月 北消防署山口出張所開設（山口町上山口）
平成 3年 4月 北消防署山口分署に昇格（平成8年2月 山口町下山口4丁目に町名変更）



昭和61年当時の北消防署山口分署
（山口町上山口・現山口町下山口4丁目）



現在の山口分署
（山口町下山口4丁目）

◆消防車両(ポンプ車)◆

消防ポンプ自動車 (ポンプ車)



昭和18年当時のポンプ車 (洋)



昭和21年当時のポンプ車 (戎)



昭和26年当時のポンプ車 (しぶき)



昭和32年当時のポンプ車 (かもめ)



昭和38年当時のポンプ車 (ちどり)



昭和46年当時のポンプ車 (西宮5号)



昭和59年当時のポンプ車 (鳴尾5号)



平成4年当時のポンプ車 (西宮11号)



平成10年当時のポンプ車 (山口71号)



現在のポンプ車 (鳴尾1)

◆消防車両(タンク車)◆

水槽付消防ポンプ自動車 (タンク車)



昭和18年当時のタンク車 (泉)



昭和29年当時のタンク車 (なるお)



昭和33年当時のタンク車 (うしお)



昭和44年当時のタンク車 (しぶき)



昭和47年当時のタンク車 (北3号)



昭和57年当時のポンプ車 (夙川29号)



昭和59年当時のタンク車 (北13号)



平成6年当時のタンク車 (北夙川42号)



平成18年当時のタンク車 (北夙川42号)



現在のスモールタンク車 (甲東2)

◆消防車両(はしご車)◆

はしご付消防ポンプ自動車 (はしご車)



昭和41年当時のシュノーケル車 (西宮シュノーケル)



昭和61年当時の15m級シュノーケル車 (甲東53号)



昭和36年当時の17m級はしご車 (西宮はしご車)



昭和46年当時の32m級はしご車 (西宮16号)



昭和50年当時の42m級はしご車 (西宮18号)



平成7年当時の50m級はしご車 (西宮13号)



平成18年当時の先端屈折式35m級はしご車 (北63号)



現在の35m級はしご車 (瓦木3)

◆消防車両(救助工作車・化学車)◆

救助工作車



昭和48年当時の救助工作車（瓦木10号）



平成3年当時の救助工作車（鳴尾24号）



平成14年当時の救助工作車（西宮14号）



現在の救助工作車（西宮4）

化学消防ポンプ自動車（化学車）



昭和38年当時の化学車（西宮化学車）



昭和49年当時の高発泡車（西宮104号）



平成2年当時の化学車（瓦木35号）



現在の化学車（瓦木5）

◆消防車両(救急車)◆

救急自動車(救急車)



昭和35年当時の救急車(西宮救急車)



昭和40年当時の救急車(西宮救急車)



昭和45年当時の救急車(鳴尾94号)



昭和47年当時の救急車(西宮91号)



昭和49年当時の救急車(西宮95号)



昭和58年当時の救急車(鳴尾96号)



平成5年当時の救急車(西宮19号)



平成6年当時の救急車(北69号)



平成17年当時の救急車(西宮9号)



現在の救急車(甲東9)

◆消防車両(活動支援車等)◆



昭和25年当時のサイドカー(つばさ)



昭和32年当時の司令車(ウイリスジープ)



昭和43年当時の連絡車(トヨタランドクルーザー)



昭和51年当時の指揮広報車(消防局20号)



平成4年当時の人員搬送車



平成4年当時の指揮広報車(局3号)



平成7年当時の支援車(北65号)



平成16年当時の活動支援車(西宮15号・現西宮5)



現在の指揮車(本部指揮)



現在の活動支援車(局5)

◆主な火災及び災害◆

昭和25年 9月	ジェーン台風
昭和26年10月	ルース台風
昭和26年12月	建物火災（越水町）3棟全焼、1,280㎡
昭和27年 4月	林野火災（塩瀬町）20ha
昭和27年 5月	林野火災（山口町）30ha
昭和28年 4月	林野火災（社家郷山）30ha
昭和29年 9月	建物火災（鳴尾町）1棟半焼、2,692㎡
昭和30年 1月	建物火災（塩瀬町）4棟全焼、2,307㎡
昭和30年 6月	集中豪雨
昭和30年12月	建物火災（鳴尾町）4棟全焼、1,013㎡
昭和31年 8月	建物火災（南甲子園）1棟全焼、1,865㎡
昭和35年 8月	16号台風（死者25人、行方不明1人、負傷者22人）
昭和36年 9月	第2室戸台風（全壊14、半壊5、床上浸水834、床下3,492棟）
昭和38年 6月	建物火災（津門大塚町）4棟全焼、1,288㎡
昭和39年 9月	20号台風（全壊10、半壊45、床上浸水1,160、床下6,540棟）
昭和40年 9月	23号台風（全壊18、半壊11、床上浸水30棟）
昭和40年 9月	24号台風（全壊15、半壊18、床上浸水5、床下109棟）
昭和40年10月	LPガスタンクローリー車火災（川西町）58棟全半焼等、1,596㎡ （死者5人、負傷者26人、車両35台焼損）
昭和42年 7月	集中豪雨（死者6人、負傷者4人） （全壊5、半壊10、床上浸水1,311、床下15,644棟）
昭和44年 6月	集中豪雨（床上浸水235戸）
昭和46年 9月	25号台風（床上浸水3、床下165戸）
昭和47年 1月	建物火災（津門川町）4棟全半焼等、3,525㎡
昭和49年 8月	アセチレン爆発火災（田近野町）2棟全焼、806㎡、ボンベ1,537本焼損
昭和50年 7月	集中豪雨（床上浸水1、床下534戸）
昭和52年12月	建物爆発火災（門戸荘）1棟57㎡、死者5人
昭和54年12月	林野火災（塩瀬町）24 ha
昭和57年 3月	建物火災（上大市5丁目）1棟全焼1,908㎡
昭和58年 9月	10号台風（死者8人、行方不明1人、負傷者4人）
平成元年 9月	集中豪雨（死者1人、半壊3、床上浸水410、床下10,200戸）
平成 4年 9月	建物火災（津門呉羽町）遊技場計2棟1,335㎡焼損、負傷者1人
平成 4年11月	建物火災（甲子園口3丁目）8棟全半焼、3,379㎡
平成 5年 5月	建物火災（津門川町）14棟全半焼、1,937㎡
平成 7年 1月	阪神・淡路大震災 （火災41件、死者1,146人、全壊34,136世帯、半壊27,102世帯）
平成 7年 7月	集中豪雨（崖崩れ等14ヶ所、家屋倒壊・土砂流入2ヶ所）
平成 9年 5月	建物火災（今津水波町） 作業員宿舎272㎡全焼、死者2人、負傷者8人
平成14年10月	建物火災（中島町）倉庫1980㎡のうち900㎡を焼損
平成16年10月	台風23号（大規模半壊6世帯、半壊70世帯、床上浸水3世帯）
平成18年 7月	車両火災（中国自動車道）タンクローリー車1台全焼
平成20年 4月	建物火災（上ヶ原七番町）一般住宅71㎡焼損、死者3人、負傷者1人
平成21年12月	建物火災（今津二葉町）工場593㎡全焼
平成22年 1月	建物火災（結善町）共同住宅640㎡全焼
平成22年 4月	建物火災（名塩東久保）一般住宅298㎡全焼、死者1人、負傷者2人
平成23年 5月	建物火災（山口町中野）一般住宅470㎡全焼、死者1人
平成23年 9月	台風12号（道路冠水2件、水路氾濫1件、住宅・店舗浸水3件、車両水没1件）
平成25年 2月	建物火災（苦楽園五番町）共同住宅149㎡焼損、負傷者2人
平成26年 2月	建物火災（笠屋町）長屋式住宅386㎡全焼、死者1人、負傷者1人
平成26年 8月	台風11号（有馬川堤防穿孔道路陥没、土砂崩れ、住宅浸水）
平成27年 1月	建物火災（上甲東園1丁目）一般住宅2棟290㎡全焼
平成28年 3月	建物火災（山口町船坂） 一般住宅3棟全焼、隣接住戸3棟焼損、計304㎡焼損、負傷者1人
平成28年 9月	建物火災（鳴尾浜2丁目）倉庫2棟2,169㎡焼損、車両38台焼損、負傷者1人



昭和37年（芦原町）
石油こんろの取扱不注意で火災となった



昭和40年（川西町）
転覆炎上するLPガスタンクローリー



昭和49年（田近野町）
アセチレン爆発火災 読売新聞社提供



昭和52年（門戸荘）
マンション都市ガス爆発火災



昭和58年（塩瀬町生瀬）台風10号



平成4年（甲子園口3丁目）市場火災



平成4年（津門呉羽町）
遊技場（パチンコ店）火災



平成14年（中島町）
倉庫火災（読売新聞社提供）



平成16年（旧国道176号）
台風23号・道路崩壊



平成18年（山口町・中国自動車道）
タンクローリー車1台全焼



平成27年（上甲東園1丁目）住宅火災



平成28年（鳴尾浜2丁目）倉庫火災

◆阪神・淡路大震災◆

発生日時：平成7年(1995年)1月17日(火)午前5時46分

地震規模：マグニチュード7.3・震度7(激震)

日本ではじめての都市直下型の大地震であり、一瞬にして阪神、淡路地域に大きな被害をもたらした。西宮市も広い範囲にわたって壊滅的な打撃を受けた。

西宮市の被害状況

死者	負傷者	倒壊家屋		避難所(最大)	避難者(最大)
		全壊	半壊		
1,146人	6,386人	34,136世帯	27,102世帯	194ヶ所	44,351人
ライフラインの被害					
水道	電気	ガス	電話		
154,100世帯で断水	176,000軒で停電	停止戸数170,400戸/172,500戸	故障件数34,000件/198,000件		
幹線道路の被害					
名神高速道路、阪神高速道路(神戸線・湾岸線)、国道171号門戸高架橋の落橋のため通行止					
鉄道の被害					
JR(新幹線・在来線)、阪急電鉄、阪神電鉄が損傷のため不通					

消防局の活動状況

火災活動	救助活動				救急活動	捜索活動
件数	件数	救出人員	台数	活動人員	件数(1月17日～31日)	活動人員(1月22日～31日)
41件	610件	658人 (生存348人、死亡310人)	756台	6,014人	1,013件	299人



阪神・淡路大震災地震発生時刻を示した
商店街の時計(馬場町)



落下寸前に止まったスキーバス
阪神高速神戸線(本町)



7階建ビルが完全崩壊し消火と救出作業が続いた
(甲子園口北町)



不眠不休の消火・救助活動が3日間続けられた
土砂崩れ現場(仁川百合野町)

◆緊急消防援助隊◆

緊急消防援助隊の出動状況

区分 災害	出動場所	年 月 日	出動隊（車両）	出動人員
福井豪雨災害	福井県美山町	平成16年7月18・19日	救助工作車 小型ポンプ積載車	6名
東日本大震災	長野県下水内郡栄村 福島県郡山市 宮城県本吉郡南三陸町 亙理郡山元町 塩竈市	平成23年3月11日 ～ 平成23年4月24日 計45日間	指揮部隊・消火部隊・救助部隊 ・救急部隊・後方支援部隊・人員 搬送支援部隊・引揚支援部隊 西宮市派遣隊数 46隊 (兵庫県隊延べ派遣隊数 290 隊)	派遣人員154人 (延べ人員981人)
熊本地震	熊本県山鹿市 熊本市東区・北区 上益城郡益城町 阿蘇郡高森町 〃 南阿蘇村	平成28年4月16日 ～ 平成28年4月22日 計7日間	指揮隊・救助小隊・救急小隊・後 方支援小隊・引揚支援隊 西宮市派遣隊数 11隊 (兵庫県隊延べ派遣隊数 52隊)	派遣人員39人 (延べ人員186人)
平成30年7月豪雨	広島県広島市 安芸区上瀬野町	平成30年7月12日 ～ 平成30年7月20日 計9日間	指揮隊・引揚支援隊 派遣隊数 4隊 (兵庫県隊延べ派遣隊数 48隊)	派遣人員12人 (延べ人員184人)

●東日本大震災



津波被害家屋の検索活動(第1次派遣隊・南三陸町)



検索活動(第8次派遣隊・山元町高瀬地区)

●熊本地震



出発式(第1次派遣隊・宝塚市末広中央公園)



土砂災害現場での救助活動(第3次派遣隊・阿蘇郡阿蘇村)

●平成30年7月豪雨



検索活動(第1次派遣隊・安芸区上瀬野町)



検索活動(第2次派遣隊・安芸区上瀬野町)

◆ 予防業務 ◆



昭和45年浜甲子園中学校少年クラブ
消防庁長官表彰受賞



昭和51年秋の火災予防運動
阪急ブレイブス山口選手一日消防局長（報徳学園）



昭和55年西宮市婦人防火クラブ（勤労会館）



平成3年非常開放面格子（西宮市考案）



平成4年当時の防災指導車



平成17年幼年消防クラブ火災予防広報
（阪急西宮北口駅）



平成25年自衛消防隊消防操法大会



平成27年度予防査察練成会

◆指令業務◆



昭和35年当時の119番受信装置



昭和41年当時の管制室(指令室)



昭和47年当時の消防救急指令装置



昭和63年当時の救急医療情報システム



平成3年当時の消防救急指令装置



平成9年当時の消防緊急情報システム
(平成9年運用開始)

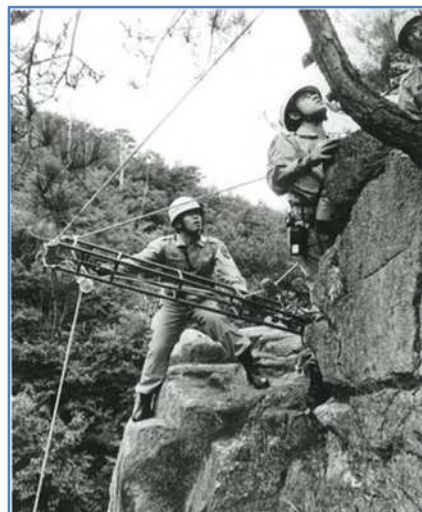


現在の消防緊急情報システム
(平成23年運用開始)

◆警防業務◆



昭和44年水防訓練（新池周辺）



平成4年国際消防救助隊訓練（仁川溪谷）



平成14年はしご車訓練（阪急西宮スタジアム）



平成17年化学車（甲東55号）放水訓練



平成18年職員総合訓練（甲子園浜）



平成25年水防工法訓練（青葉台武庫川河川敷）



平成26年職員消防操法大会（旧鯨池浄水場）



平成29年西宮市総合防災訓練
（旧アサヒビール跡地）

◆救急業務◆



昭和44年防災訓練（新池周辺）



昭和55年当時の救急車標準装備



昭和60年第1回「救急の日」応急手当講習会
（西宮市役所前）



平成2年当時のドクターカーシステム
提携医療機関（県立西宮病院・兵庫医科大学病院）



平成3年導入防振ストレッチャー



平成5年救急車内（西宮19号）



平成18年救急技術競技会（職員会館）



平成29年親子で学ぼう救急講習

◆過ぎし日の記録◆



特設消防署当時の西宮消防署



昭和20年代の一斉放水（鳴尾新川）



昭和29年出初式（市民グラウンド）



昭和42年出初式



昭和40年代後半の消防待機宿舎食堂



昭和55年西宮市消防職員意見発表会



平成8年防災訓練



平成17年西宮市総合防災訓練（甲子園浜）



阪神タイガース藤村選手を迎え防火PR
(昭和28年)



俳優・嵐寛寿郎氏を迎え防火PR
(昭和30年)



阪神パークでの防火PR
(昭和44年)



阪神タイガース村山選手の一日消防署長
(昭和44年)



阪神タイガース真弓選手の一日消防署長
(昭和59年)



第19回若人の祭典での防火PR
(平成元年)



自治体消防50周年・西宮市消防音楽隊
10周年記念演奏会 (平成10年)



西宮市消防音楽隊20周年記念演奏会
中核市移行記念 (平成20年)

◆歴代消防長等◆

西宮市消防長

蛭田 六次	S23. 3. 7~S30. 9. 28
濱田 武夫	S30. 9. 29~S36. 11. 30
竹下 宗吉	S36. 12. 1~S42. 11. 29
堤 清栄門	S42. 11. 30~S43. 10. 23
宮崎 勝	S43. 10. 24~S48. 2. 28
福田 昌巳	S48. 3. 1~S53. 3. 31
木元 久夫	S53. 4. 1~S54. 3. 31
兼光 鋭	S54. 4. 1~S56. 3. 31
北中 正一	S56. 4. 1~S62. 3. 31
渡邊 昌夫	S62. 4. 1~H 1. 3. 31
谷本 親夫	H 1. 4. 1~H 3. 3. 31
北上 勇市	H 3. 4. 1~H 6. 3. 31
岸本 健治	H 6. 4. 1~H12. 3. 31
川崎 洋光	H12. 4. 1~H15. 3. 31
田中 民男	H15. 4. 1~H17. 3. 31
岸本 正	H17. 4. 1~H21. 3. 31
中島 日出男	H21. 4. 1~H25. 3. 31
坂本 健治	H25. 4. 1~H30. 3. 31
山下 俊郎	H30. 4. 1~

鳴尾村消防長

(昭和26年4月1日西宮市消防本部に統合)
濱田 武夫 S23. 3. 7~S26. 3. 31

次長

河合 源十	S23. 7. 1~S26. 11. 18
村山 菊夫	S27. 6. 30~S30. 9. 29
竹下 宗吉	S30. 9. 30~S36. 9. 17
堤 清栄門	S33. 9. 18~S36. 12. 3
宮崎 勝	S36. 12. 4~S42. 11. 29
福田 昌巳	S42. 11. 30~S48. 2. 28
藪野 文夫	S48. 3. 1~S50. 10. 10
【H21・H22 次長制】	
大坂 修二	H21. 4. 1~H22. 3. 31
畑田 満	H22. 4. 1~H23. 3. 31

総務部長

●管理部長～総務部長

(平成14年4月1日～総務部長)

牧野 辰生	S50. 10. 11~S53. 3. 31
北中 正一	S53. 4. 1~S56. 3. 31
宮田 顥司	S56. 4. 1~S60. 3. 31
消防長兼務	S60. 4. 1~H 1. 3. 31
尾嶋 守	H 1. 4. 1~H 3. 3. 31
岸本 健治	H 3. 4. 1~H 6. 3. 31
北川 悦久	H 6. 4. 1~H 8. 3. 31
前田 勝一	H 8. 4. 1~H13. 3. 31
岸本 正	H13. 4. 1~H17. 3. 31
辻 喜正	H17. 4. 1~H19. 3. 31
大坂 修二	H19. 4. 1~H21. 3. 31
畑田 満	H23. 4. 1~H24. 3. 31
山下 俊郎	H24. 4. 1~H27. 3. 31
松浦 光廣	H27. 4. 1~

警防部長

●消防部長～警防部長

(平成24年4月1日～警防部長)

藪野 文夫	S50. 10. 11~S52. 3. 31
木元 久夫	S52. 4. 1~S53. 3. 31
松元 政任	S53. 4. 1~S54. 3. 31
渡邊 昌夫	S54. 4. 1~S56. 3. 31
小田 実	S56. 4. 1~S61. 3. 31
岸本 健治	S61. 4. 1~H 3. 3. 31
古賀 一人	H 3. 4. 1~H 4. 3. 31
川崎 洋光	H 4. 4. 1~H 8. 3. 31
北川 悦久	H 8. 4. 1~H12. 3. 31
岸本 正	H12. 4. 1~H13. 3. 31
高砂 稔	H13. 4. 1~H15. 3. 31
米田 勝	H15. 4. 1~H16. 3. 31
中島 日出男	H16. 4. 1~H19. 3. 31
辻 喜正	H19. 4. 1~H21. 3. 31
坂本 健治	H23. 4. 1~H25. 3. 31
柴田 讓二	H25. 4. 1~H26. 3. 31
河村也寸志	H26. 4. 1~H27. 3. 31
山下 俊郎	H27. 4. 1~H30. 3. 31
渡邊 隆	H30. 4. 1~

参与(防災・安全局出向)

野田 善治	H20. 4. 1~H22. 3. 31
柴田 讓二	H22. 4. 1~H24. 3. 31

歴代消防署長**西宮消防署長**

消防長兼務 S23. 3. 7~S49. 1. 3
 舘 素行 S49. 1. 4~S49. 11. 4
 木元 久夫 S49. 11. 5~S52. 3. 1
 消防部長兼務 S52. 3. 2~S52. 3. 31
 兼光 鋭 S52. 4. 1~S53. 3. 31
 牧野 辰生 S53. 4. 1~S59. 3. 31
 渡邊 昌夫 S59. 4. 1~S62. 3. 31
 宮田 穎司 S62. 4. 1~S63. 3. 31
 谷本 親夫 S63. 4. 1~S 1. 3. 31
 古賀 一人 H 1. 4. 1~H 3. 3. 31
 西谷 清治 H 3. 4. 1~H 6. 3. 31
 尾嶋 守 H 6. 4. 1~H 9. 3. 31
 川崎 洋光 H 9. 4. 1~H12. 3. 31
 北川 悦久 H12. 4. 1~H15. 3. 31
 仲 幸信 H15. 4. 1~H16. 3. 31
 平田 恒久 H16. 4. 1~H18. 3. 31
 畑田 満 H18. 4. 1~H21. 3. 31
 中倉 清 H21. 4. 1~H23. 3. 31
 東 寿徳 H23. 4. 1~H27. 3. 31
 河村也寸志 H27. 4. 1~H30. 3. 31
 長谷川孝治 H30. 4. 1~

鳴尾消防署長

鳴尾村消防長兼務 S23. 3. 7~S26. 3. 31
 濱田 武夫 S26. 4. 1~S30. 9. 28
 村山 菊夫 S30. 9. 30~S33. 9. 3
 竹下 宗吉 S33. 9. 18~S36. 11. 30
 堤 清栄門 S36. 12. 4~S42. 11. 29
 宮崎 勝 S42. 11. 30~S43. 10. 23
 藪野 文夫 S43. 10. 24~S48. 2. 28
 木元 久夫 S48. 3. 1~S49. 11. 4
 松元 政任 S49. 11. 5~S53. 3. 31
 渡邊 昌夫 S53. 4. 1~S54. 3. 31
 小田 実 S54. 4. 1~S56. 3. 31
 野田 芳雄 S56. 4. 1~S61. 3. 31
 小田 実 S61. 4. 1~S63. 3. 31
 古賀 一人 S63. 4. 1~H 1. 3. 31
 仲山 文治 H 1. 4. 1~H 4. 3. 31
 前田 勝一 H 4. 4. 1~H 8. 3. 31
 川崎 洋光 H 8. 4. 1~H 9. 3. 31
 西谷 清治 H 9. 4. 1~H12. 3. 31
 田中 民男 H12. 4. 1~H15. 3. 31
 辻 喜正 H15. 4. 1~H17. 3. 31
 大西 信彦 H17. 4. 1~H19. 3. 31
 中島日出男 H19. 4. 1~H21. 3. 31
 畑田 満 H21. 4. 1~H22. 3. 31
 坂本 健治 H22. 4. 1~H23. 3. 31
 谷保 和成 H23. 4. 1~H27. 3. 31
 渡邊 隆 H27. 4. 1~H30. 3. 31
 中越 仁志 H30. 4. 1~

甲東消防署長~瓦木消防署長

(昭和63年10月1日~瓦木消防署)

木元 久夫 S44. 4. 1~S48. 2. 28
 松元 政任 S48. 3. 1~S49. 11. 4
 舘 素行 S49. 11. 5~S52. 3. 31
 渡邊 昌夫 S52. 4. 1~S53. 3. 31
 兼光 鋭 S53. 4. 1~S54. 3. 31
 松元 政任 S54. 4. 1~S56. 3. 31
 渡邊 昌夫 S56. 4. 1~S59. 3. 31
 牧野 辰生 S59. 4. 1~S60. 7. 4
 谷本 親夫 S60. 7. 5~S63. 3. 31
 北上 勇市 S63. 4. 1~H 3. 3. 31
 尾嶋 守 H 3. 4. 1~H 6. 3. 31
 西谷 清治 H 6. 4. 1~H 9. 3. 31
 岸本 正 H 9. 4. 1~H12. 3. 31
 高砂 稔 H12. 4. 1~H13. 3. 31
 前田 勝一 H13. 4. 1~H15. 3. 31
 桑田 智司 H15. 4. 1~H16. 3. 31
 畑田 満 H16. 4. 1~H18. 3. 31
 大坪 成一 H18. 4. 1~H22. 3. 31
 野田 善治 H22. 4. 1~H23. 3. 31
 小川 講平 H23. 4. 1~H24. 3. 31
 柴田 讓二 H24. 4. 1~H25. 3. 31
 田中 豊 H25. 4. 1~H27. 3. 31
 谷保 和成 H27. 4. 1~H29. 3. 31
 川畑 真実 H29. 4. 1~

北消防署長

宮田 穎司 S59. 10. 1~S62. 3. 31
 中塚 慧 S62. 4. 1~H 1. 3. 31
 西谷 清治 H 1. 4. 1~H 3. 3. 31
 梶原 正義 H 3. 4. 1~H 5. 3. 31
 樋口 基明 H 5. 4. 1~H 9. 3. 31
 高砂 稔 H 9. 4. 1~H12. 3. 31
 仲 幸信 H12. 4. 1~H15. 3. 31
 平田 恒久 H15. 4. 1~H16. 3. 31
 桑田 智司 H16. 4. 1~H18. 3. 31
 川人 悦治 H18. 4. 1~H22. 3. 31
 東 寿徳 H22. 4. 1~H23. 3. 31
 上田 一彦 H23. 4. 1~H26. 3. 31
 松浦 光廣 H26. 4. 1~H27. 3. 31
 中越 仁志 H27. 4. 1~H30. 3. 31
 河村也寸志 H30. 4. 1~

◆消防団◆

明治初期	西宮港沖仲仕消防組的作業に従事
明治10年4月	沖仲仕と大工組合で西宮町火防組設置
明治27年2月	西宮町消防組創設
大正14年4月	西宮市消防組と改称
昭和14年7月	西宮市警防団に改組し9分団で発足
昭和16年2月	西宮市警防団11分団となる
昭和17年5月	西宮市警防団14分団となる
昭和22年9月	西宮市消防団結成
昭和26年4月	西宮市消防団1本部26分団となる
昭和40年4月	1本部28分団となる
昭和53年4月	水上分団を廃止し1本部27分団となる
昭和56年4月	1本部33分団となる
平成 8年4月	消防団事務が市民局から消防局に移管
	消防団本部を消防局庁舎内（池田町）に置く
平成17年4月	消防署の管轄区域に準じ分団所管地区を改編
平成20年6月	西宮市機能別消防団発足

阪神・淡路大震災での消防団の活動

	出動台数	出動台数	活動状況
消火活動	104台	647人	市内33の分団員は、震災発生時直ちに詰所に参集し、消火、救助、負傷者の搬送に従事した。救助活動の終了に伴い、各車両に簡易タンクを積載し、市内全域の給水活動を実施した。
救助活動	314台	3,328人	
給水活動	567台	2,191人	

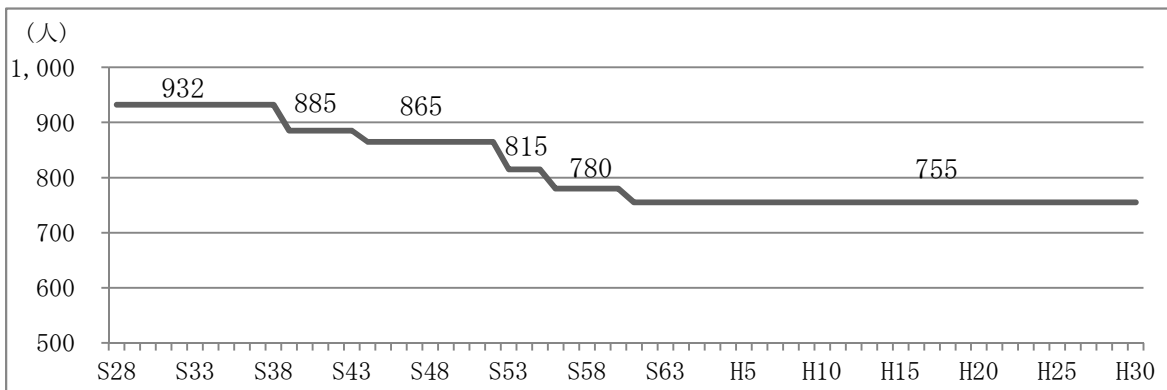
昭和28年の機構

消防団長	
消防副団長(5人)	
	浜脇分団
	用海分団
	安井分団
	建石分団
	今津分団
	津門分団
	大社分団
	芦原分団
	夙川分団
	甲東分団
	水上分団
	高木分団
	瓦木分団
	上甲子園分団
	中分団
	西分団
	北分団
	東北分団
	東分団
	名来分団
	下山口分団
	上山口分団
	中野分団
	船坂分団
	生瀬分団
	名塩分団

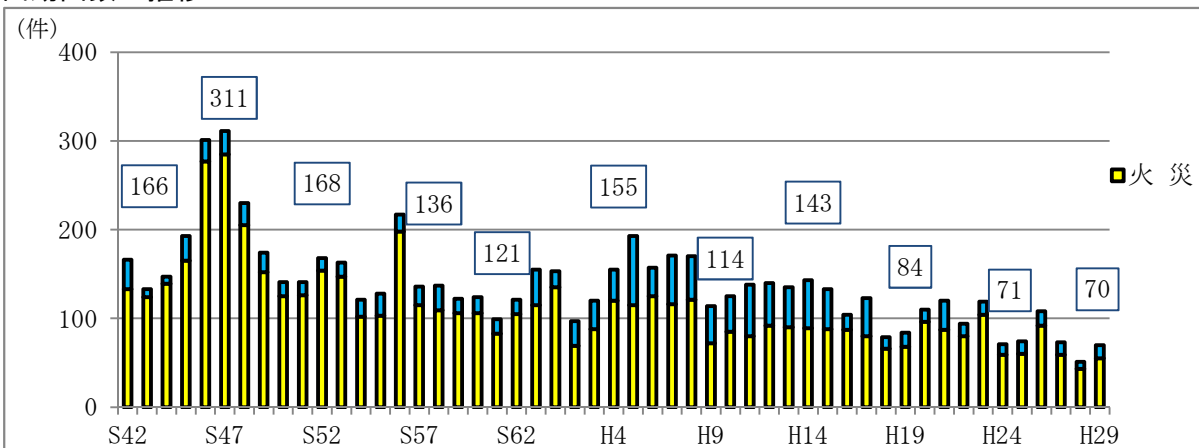
平成30年の機構

消防団長	
消防副団長(7人)	
本庁南	浜脇分団
	用海分団
	建石分団
	今津分団
	津門分団
本庁北	安井分団
	大社分団
	芦原分団
	夙川分団
甲東	超木岩分団
	段上分団
	門戸分団
	上ヶ原分団
	下天市分団
瓦木	神呪分団
	上大市分団
	高木分団
	瓦木分団
鳴尾	甲子園口分団
	上甲子園分団
	鳴尾中分団
	鳴尾西分団
	鳴尾北分団
山口	小松分団
	小曾根分団
	鳴尾東分団
	名来分団
塩瀬	下山口分団
	上山口分団
	中野分団
	船坂分団
	生瀬分団
	名塩分団

消防団定員の推移



出動回数の推移



歴代消防団長

中嶋 三蔵	S20. 4. 25~H 1. 3. 31
木嶋 巖	H 1. 4. 1~H11. 4. 20
松本 光央	H11. 4. 21~H13. 3. 31
中山 芳夫	H13. 4. 1~H17. 3. 31
吉田 昭光	H17. 4. 1~H25. 3. 31
松本 俊治	H25. 4. 1~

歴代消防団副団長

中嶋 三蔵	S14. 4. 1~S20. 4. 24	八車 典雄	H 5. 4. 1~H 9. 3. 31
田中市三郎	S20. 4. 25~S43. 11. 14	中山 芳夫	H 5. 4. 1~H13. 3. 31
田中仁左衛門	S21. 7. 25~S61. 5. 22	吉田 昭光	H 5. 4. 1~H17. 3. 31
藪 千太郎	S26. 4. 1~S44. 3. 31	田中 一郎	H 9. 4. 1~H17. 3. 31
浜野 洋光	S30. 7. 13~S42. 11. 1	北浦 治	H 9. 4. 1~H21. 3. 31
和田 平伊	S32. 2. 15~S48. 3. 31	松本 俊治	H 9. 4. 1~H25. 3. 31
田中 貞一	S44. 4. 1~S48. 3. 31	浅井 克己	H11. 4. 1~H19. 3. 31
西田 豊秋	S44. 4. 1~S55. 5. 17	家門 一男	H13. 4. 1~H17. 3. 31
中畑 勇	S44. 4. 1~H 5. 3. 31	萬国 俊治	H17. 4. 1~H24. 12. 16
木島 巖	S48. 4. 1~H 1. 3. 31	酒井 和勢	H17. 4. 1~H29. 3. 31
古藪 雄作	S48. 4. 1~H 9. 3. 31	豆腐谷一夫	H17. 4. 1~
岸 亀蔵	S55. 12. 1~S63. 5. 31	絹川 義明	H17. 4. 1~
小西 重男	S63. 6. 1~H 4. 5. 5	戸崎 雄介	H19. 4. 1~
竹中嘉一郎	S63. 6. 1~H 5. 3. 31	和田 平雄	H21. 4. 1~
田中 常夫	H 1. 4. 1~H 5. 3. 31	西本 一弘	H24. 12. 17~
下村 進	H 2. 4. 1~H 9. 3. 31	奥村 浩	H25. 4. 1~H29. 3. 31
吉井 潔	H 2. 4. 1~H10. 11. 30	佐藤 修一	H29. 4. 1~
松本 光央	H 4. 4. 1~H11. 4. 20	中村 和彦	H29. 4. 1~

◆消防団車庫◆



昭和4年建築の甲東分団
(現門戸分団)



昭和6年建築の大社分団



昭和6年建築の東分団 (現鳴尾東分団)



昭和7年建築の建石分団



昭和11年建築の上山口分団



昭和17年建築の高木分団



平成16年建築の浜脇分団

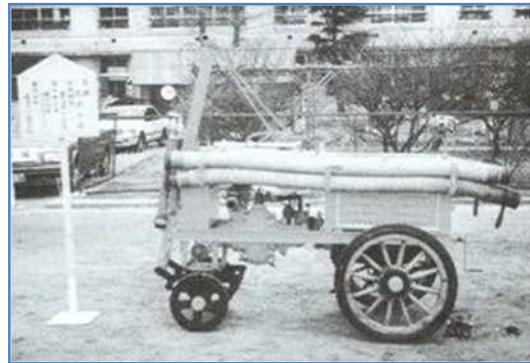


平成28年建築の段上分団

◆消防団車両◆



大正12年当時のガソリンポンプ（名塩分団）



昭和10年当時の手引き動力ポンプ（生瀬分団）



昭和15年当時の消防艇うみつばめ（水上分団）



昭和24年当時のポンプ車（中分団）



昭和37年当時のポンプ車（甲東分団）



昭和43年当時のポンプ車（浜脇分団）



平成9年当時のポンプ車（安井分団）



現在のポンプ車（津門分団）

◆消防団の記録◆



今津消防組当時



大正13年当時の鳴尾消防組



鳴尾消防組当時の刺子



竜吐水（りゅうどすい）大社村消防組



昭和41年防災訓練（香櫨園浜）



昭和44年防災訓練（新池）



昭和42年出初式（浜脇小学校）



昭和51年出初式（浜脇小学校）



昭和55年出初式



平成5年出初式（武庫川河川敷）



平成16年兵庫県消防大会
(兵庫県消防学校、三木市)



平成19年消防ポンプ操法大会（武庫川河川敷）



平成19年消防署開放デー（西宮消防署）



平成20年出初式（武庫川河川敷）
消防組当時の刺子を着用し、パレードを行う消防団員



平成29年文化財防火デー訓練（神呪寺）



平成30年消防団消防操法大会（瓦木分団）



西宮市消防70周年記念フレーム切手(平成30年1月)
郵便局と共同で作成

備えて安心、住宅用火災警報器を設置しましょう！



西宮市消防マスコット ウーちゃん・カンちゃん

西宮市消防70年のあゆみ

発行 平成30年8月

編集 西宮市消防局総務部企画課
〒662-0911

西宮市池田町13番3号

TEL 0798-26-0119